

## 2023年度前期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2023年度前期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

さて、2023年度前期「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観していくことにいたします。まず回答率ですが、全科目における延べ受講者数 10386 人に対しまして総回答者数は 5908 人であり、約 57%となりました。直近の 2022 年度後期が 49%、前期は約 56%でしたので、ほぼ変化はないものと思われまます。このように、本アンケートの実施方法をユニバーサルパスポートを用いての方式に変更して以来、回答率が上がらない状況が続いております。FD・SD 委員会におきましては、こうした結果を重く受け止め、本アンケートの回答率の向上を重要課題と位置付け、皆様に協力依頼を行ってまいりましたが、今期におきましても解決することができませんでした。引き続き本アンケートの回答率を上げることを重要課題として位置付け、回答率向上に向けての工夫を行って参りますので、どうぞご理解いただきまして、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

上記の回答率から考えますと結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえまして、以下に今年度前期における全体的な特徴を述べていくことにします。まず A 領域の「あなた自身について」ですが、「④授業を受けて関連領域をさらに深く勉強したくなった」「⑤シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じる」の項目に関しては平均が 3 点代でしたが、いずれも 3.8 以上となっております。また、「①この授業への出席割合」「②授業に積極的に参加した」「⑥この授業全般において満足である」の 3 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えていました。こうした傾向が昨年度前期と同様であることから考えますと、多くの学生さんは「授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加したということ、そして、授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じている」、このように自身の学修状況を認識していることがうかがえます。そして、学修状況をこのように認識しているために、授業全般に対する満足度も高いものになっていたのだと思われまます。本アンケート結果からは、このように推測することが可能かと思われまます。

次に、B 領域の「授業や教員の教え方について」ですが、「⑦学生が集中しやすい授業だった」「⑩授業の学習目標を学生に伝えていた」の 2 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えておりました。また、「⑧授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった」「⑨学生の理解度を確認しながら授業が行われていた」においては、若干平均点は落ちるもののいずれも 3.7 を超える値となっております。こうした傾向は、A 領域同様、昨年度前期と同様であることから考えますと、多くの学生さんは教員の授業運営に対する認識として、「教員は学習目標を伝え、個々の受講生の理解度に気を配りながら、授業に集中できるように教室をコントロールし、質問にも応じていた」というように認識していたことが推測されます。

A 領域、B 領域の結果をまとめますと「授業中において、受講生は積極的に集中して取り組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、本学の多くの学生さんは授業に対してこのような認識を持っていることが推測されます。そして、授業評価におけるこうした傾向が例年通りであることから考えますと、真摯な姿勢や態度をもって学生も教員も共に授業に取り組んでいるということが、本学における教育活動の大きな特徴の 1 つになっていると言えるのではないのでしょうか。さらには、ここ数年におけます各資格の国家試験の合格率、及び、全学的な就職率の高さは、このように姿勢や態度をもって授業を中心とした学修活動に臨み、積み重ねてきた結果、個々の学生さんが成長している証であると思われまます。

しかしながら、本学の大きな課題の 1 つである受講生の予習や復習といった授業外学習時間についてですが、微増傾向にあるものの、まだ十分とはいえない状態かと思われまます。学修者本位の教育が展開されていくためには、受講生が授業時以外でも主体的に積極的に学修していく必要があります。したがって、授業時以外でも受講生が主体的に学修していくことができるための授業作りとそのための学生支援の在り方を検討していくことが、授業の質をあげていくということであり、このことが本学に求められている現在の最重要課題といえます。引き続き一人ひとりの学生さんとの丁寧な対話を続けていくことによって、この課題の解決をめざしていきたいと思っております。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

# 授業評価アンケート

2023年度 前期

授業コード：

授業科目名： 全体

受講者数： 10386名

担当教員名：

回答者数： 5908名

学科	人間科学部 社会福祉学科 1059	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻 25	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻 560	人間科学部 子ども教育学科 1058	人間科学部 健康心理学科 411	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻 131	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻 49	人間科学部 理学療法学科 281	心理学部 心理学科 888
----	-------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------------------	---------------------------------	------------------------	---------------------

学科	保健医療学部 理学療法学科 726	保健医療学部 作業療法学科 516	保健医療学部 言語聴覚学科 204	学年	1年次 2307	2年次 2285	3年次 1083	4年次 233
----	-------------------------	-------------------------	-------------------------	----	-------------	-------------	-------------	------------

設問No	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
		そう思う	やや そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	

## A.あなた自身について

①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	4129	1395	280	48	46	4.61
②	授業に積極的に参加した	2770	2205	721	136	49	4.28
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	316	902	1650	1706	1312	2.52
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1750	2377	1228	339	184	3.88
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだ	1349	2627	1492	284	133	3.81
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2193	2149	1158	260	118	4.03

## B.授業や教員の教え方について

⑦	学生が集中しやすい授業だった	2450	2041	1004	254	141	4.09
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1764	1715	1616	501	288	3.71
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	1866	2025	1340	413	241	3.83
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2325	2075	1138	226	125	4.06

